

1学期終業式での「校長の言葉」より

おはようございます。いよいよ明日から夏休みですね。連日の暑さから、今度は台風による雨にかわりました。今年は、ここまでなんとなく、「夏」らしい日が数えるほどです。きっと、生徒のみなさんもこの天気にあわせるのに、大変だったと思います。

いよいよ、これから学校からは離れますが、熱中症などには、特に注意してください。



さて、平成27年度の1学期、みなさんは、どんな過ごし方をしたでしょうか？私が振り返ると、約4ヶ月の中で、どの学年も、そして、どの部活動も素晴らしい力を見せてくれたと思います。

例えば、1年生は、中学校に入学したばかりであっても、学校生活をしっかり送ろうという意識が随所に見えていました。その結果として、川本中生としての姿勢が後ろ姿にもはっきりと見えてきたと思います。次に2年生は、新年度になり先輩としての意識が育ち、多くの場面で1年生を指導する姿を目にしました。また、学年全体で取り組んだ、菅平・車山高原での自然体験学習は、その目的をしっかりと達成できたと思います。最後に、3年生は、最上級生という「川本中の看板」となりました。その重圧にも負けずに、部活動でも大変良い結果を残してくれました。また、修学旅行でも、その目的を達成することが出来ました。やはり、「私たちが、川本中のリーダーだ。」という意識があったからだと思います。この3つの学年の一人一人が、良く頑張ってくれたと改めてお礼を言いたいと思います。「ありがとう。」

それぞれの頑張りが、次の2学期では、更に良い結果につながると 생각합니다。期待しています。

最後になりますが、みなさんにあることばを教えたいと思います。それは、あの有名な修道女マザー・テレサさんの言葉です。

「笑ってあげなさい。笑いたくなくても笑うのよ。笑顔が人間に必要なもの、最も悲惨なことは飢餓でも病気でもない。自分が誰からも愛されていないと感ずることです。」

この言葉は、マザー・テレサさんが、病人たちに奉仕するシスターたちに言った言葉だといわれています。

凄い言葉ですね。まさに、深い愛に満ちた言葉だと思います。

この「笑顔」という行為こそ、人と人の関係を良好にするものなのです。このことをこの最も証明しているのが、生まれてきた赤ちゃんが、何も教えないのに、お母さんの笑顔に反応して「笑う」ということです。川本中の生徒のみなさんにもこの「笑顔」をいつも持っていてもらいたいと思います。よろしくお願ひします。

それでは、2学期にまた元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。

ありがとうございました。

